

ユースエール認定
継続3社に証明書

福島労働局は21日、若者の採用や育成に積極的で働きやすい環境づくりに取り組む中小企業を国が認定する「ユースエール認定制度」で、5年にわたって基準を満たした県内3社に継続証明書を贈った。

証明書を受けたのは、ソマ(相馬市)、東北工業(郡山市)、福島明工社(須賀川市)の3社。いずれも2018年に認定を受けた後も有給休暇の取得率などが高く推移するなど、若者の働きやすい環境づくりに努めた。



井口局長から認定書を受ける大槻工場長(左)

福島市で行われた式典で、井口真嘉局長が「若者が働きやすい職場をつくるための県内企業の働き方改革推進のモデルとなる」と述べ、ソマの大槻幸市常務・工場長、東北工業の高月俊夫社長、福島明工社の川村龍俊社長に証明書を手渡した。労働局によると、5月31日現在、県内では全国で最も多い64社が認定を受けている。